

# 新米を食べました!

市の栄養士を通して、地域の米農家の方から稲穂が届き、各クラスで稲穂や米に触れたり、絵本などで学んだりしました。今年度の新米を食べた子どもたちの様子やつぶやきをご紹介します。

## <0歳児 ひよこぐみ>

↓稲穂をじーっと見ていました



マンマ!!マンマ!!



ごはん?

ごはんになるんだよ

稲穂が揺れるのを目で追ったり、ジッパー袋に入ったお米を振ったり、グニューと触ったりして感触を楽しんでいました。

↑稲穂と茶碗に入ったご飯を見て…

## <1歳児 りすぐみ>

いたい、いたい

触った感触をそれぞれに表していました。

ちゅるちゅる



触りました。精米後のお米も

もみ殻のついたお米を触っています

もみ付きのお米、白米、ご飯のひとつひとつの感触を実際に触って興味をもっていました。

食べる時にはお茶碗のご飯を指さして知らせ、お米がご飯になる事が少し繋がっているようでした。

わあー  
ごはんだあ  
いっしょだね



## <2歳児 うさぎぐみ>

「いつもお家で食べてる!」「ママが洗ってるよ!」などと言って、知っていることや自分の経験を繋げている様子でした。



これおこめなん?

保:「おこめってしってる?」

子:「しってる!」  
「ママが  
あらってくれてる!」

## <3歳児 こあらぐみ>

↓精米後のお米を触りました。



かたいなあ。



田植え機を見て…

子:「ショベルカー?」

保:「トラクターって言うんだよ」



稲穂を「初めて見た!」と言う子どもいましたが、お米についての絵本を読み進めるうちに「田んぼにあるやつや!」「知ってるわ!」と次々に声があがってきました。

## <4歳児 きりんぐみ>

絵本でひとつのもみが2000粒のお米になる事を知りました。「1個がこんなにいっぱいになるん!?」「すごい!」と驚いていました。



しんまいて  
いうねって!

## <5歳児 ぞうぐみ>



絵本で過程を学び、稲穂から一粒ずつ外さなければならないことを知った子どもたち。「お米はずすの大変やな。給食の先生がしてくれてるんちゃう?」「お米屋さんがしてるんやろう。」と、子どもなりに考えて話していました。

5歳児は稲穂から炊き上がるまでの過程を体験しました。別紙に様子を記載していますのでぜひご覧ください。

毎日の給食では、地産や旬の食べ物が味わえるように献立が考えられています。

今後も様々な方法で子どもたちに知らせながら、さまざまな食材や料理、そして食への興味につなげていけるようにしていきたいと思ひます。

